

レジメン名

FOLFIRI

出典 Zaanan A et al. Cancer 2011;117:1422-8
Aydin D et al. Clin Colorectal Cancer 2017;16:78-84

実施部署区分

■入院

■外来

□処置

対象疾患

小腸癌

- 進行・再発
- 補助療法（術前・術後）
-
-

投与減量の基準（大腸癌レジメンに準じる）

WBC	2000/mm ³ 未満		
その他	上記基準または下痢が認められた場合、回復を確認後、次回投与時20-25%減量にて再開。		

投与中止の基準（大腸癌レジメンに準じる）

WBC	3000/mm ³ 未満	PLT	7.5万/mm ³ 未満
その他			

1コース期間 14日
（次のコースまでの標準期間）

総コース数 PDまで

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 （時間）	投与日（d1、d8等）
イリノテカン	150mg/m ²	輸液Z250mL	2時間	day1
レボホリナート	200mg/m ²	輸液250mL	2時間	day1
フルオロウラシル（急速静注）	400mg/m ²	NS50mL	全開	day1
フルオロウラシル（持続静注）	2,400mg/m ²	NS適量	46時間	day1

1日投与順
（経時的にフレミティケーション・ホストティケーション、
溶解液まで含む）

day1
<メイン>
①生食20mL（CVポートよりのルート確認用）
②アロキシ0.75mg/バッグ＋デキサート9.9mg
※¹（15分）
※1 アプレピタントを併用する場合デキサートは4.95mg
③イリノテカン150mg/m²＋輸液250mL（2時間）
<側管>
③レボホリナート200mg/m²＋輸液250mL（2時間）
イリノテカンと同時に
<メイン>
④フルオロウラシル400mg/m²＋生食50mL（全開）
⑤生食50mL（フラッシュ用）
⑥フルオロウラシル2400mg/m²＋生食αmL計100mL
インフューザーポンプ使用にて46時間で投与

<内服>
day1から4日間
ウルソデオキシコール酸（100） 3錠 分3毎食後
炭酸水素ナトリウム 1.8g 分3毎食後
（遅発性下痢の予防目的）